

兵庫県立豊岡総合高等学校から、クオノトリの郷公園のジオラマ(縮尺模型)のプレゼントがありました(写真)。同高校環境建設工学科を昨年卒業した生徒が製作を始め、今

春卒業する生徒が完成させた課題研究の作品です。地図の等高線を基に山や谷の起伏を丁寧に再現し、木材やワイヤーやスポンジで作った本物そっくりの樹や建物などが、配置されています。



約1,000分の1の大きさで再現された小さな郷公園は、園内の豊岡市立クオノトリ文化館でしばらく展示されており、空を飛ぶクオノトリが郷公園を見下ろすような気分で眺めることができます。

平成20年度 子どものための野生復帰講座 (予定)

クオノトリの郷公園では、クオノトリの保護・増殖と野生復帰に取り組んでいます。クオノトリ野生復帰のフィールドとなる地域の人々は、かつてクオノトリを育てた里山をよみがえらせる取り組みを進めています。そのような取組を体験できる「野生復帰講座」を、平成20年度も開催予定です。詳細は決まり次第、ホームページやチラシにてご案内します。

- 対象者： 小学校4年生～中学生
- 定員： 30名
- 日程： 平成20年4月～平成21年3月(全10回、各回3時間程度)
- 内容： クオノトリがすめる場所のフィールド調査、クオノトリの飼育体験、ほか
- 参加費： 無料
- 保険料： 年間500円

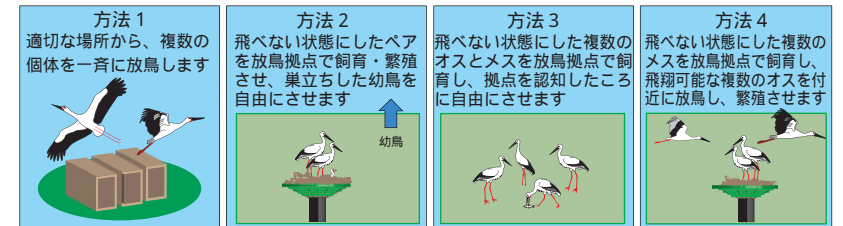
平成20年度 クオノトリ・パークボランティア養成講座について

平成20年度クオノトリ・パークボランティア養成講座は、開催いたしません。どうぞご了承ください。

クオノトリの羽数 (2008.2.29 現在)

放鳥拠点にいるクオノトリは「飼育下」にいるものとし、放鳥拠点から解放もしくは巣立ちをした際に「放鳥クオノトリ」として数えます。したがって、現在三木放鳥拠点にいる親鳥は「飼育クオノトリ」として数え、繁殖行動が無事に進展した場合、幼鳥は巣立ちをもって「野外にいるクオノトリ」として数えます。

	オス	メス	合計
クオノトリの郷公園	28	34	62
クオノトリ保護増殖センター	17	18	35
三木放鳥拠点(方法2: H19.9.30着手)	1	1	2
合計	46	53	99



野外にいるクオノトリの羽数

実施年度	放鳥方法	放鳥実績/野外での繁殖			回収/收容		死亡		備考	野外現存数	
		放鳥、着手、または巣立ちした日	オス	メス	合計	オス	メス	オス			メス
平成17年度	方法1	平成17年9月24日放鳥	2	3	5	1		1		J0290回収、J0232死亡	3
	方法4	平成17年9月30日着手		2	2		2			ペア不成立のため回収	
平成18年度	方法2	平成18年7月14日、21日巣立ち	1	1	2						2
	方法1	平成18年9月23日放鳥	1	2	3						3
平成18年度	方法3	平成18年9月24日放鳥	2	2	4						4
		平成19年5月19日野外で孵化		1	1					平成19年7月31日巣立ち	1
平成19年度	方法1	平成19年9月22日放鳥	2	1	3						3
	方法3	平成19年9月23日放鳥	1	1	2						2
合計			9	13	22	1	2	1			18

いきもの通信

No.127

新しい発見 2月に入り、繁殖行動に伴う動きが活発になり、さまざまな場面が展開しています。そこで、2月29日までの状況をお伝えします。

放鳥クオノトリの産卵

昨年7月に豊岡市百合地地区の人工巣塔でヒナを巣立たせた放鳥クオノトリのペア(J0228:メス、J0275:オス)が、今年も同じ場所で繁殖行動を始めました。2月11日からペアのどちらかが巣に伏せるようになり、日増しにその時間が長くなりました。卵を産み、温め始めたのかもしれないと考え、確認のために19日にバケット車(高所作業車)で地上24mの高さまで上がり、観察しましたが、巣に雪が積もっていて、中までは見えませんでした(写真1・2)。産卵していて順調にいけば、3月下旬には孵化する予定です。

春の訪れは感じるものの、まだ冬の天候はもう少し続きそうです。風が吹こうと雪が

降ろうと巣で伏せ続ける親鳥にはつらいかもしれませんが、悪天候や卵を狙うカラスなどに負けず、頑張っ温め続けてほしいと思います。



写真1 百合地地区の人工巣塔に伏せる J0275



写真2 J0228と交代するために立ち上がる J0275

子別れするとき

百合地地区の人工巣塔で生まれ育った幼鳥 J0003 (2007年生れ、メス) は、巣塔から北へ1kmほどにある田んぼや鎌谷川でドジョウやザリガニを食べるなど、この近辺を中心に単独で行動する姿が観察されていました。この幼鳥が、2月28日に少し遠出をし、J0296 (2001年生れ、メス)、J0363 (2003年生れ、メス)、J0381 (2004年生れ、オス) といった放鳥クオノトリたちと一緒に、豊岡市出石町三木の田んぼを訪れました。J0363には少し嫌がられたようでしたが、親以外のクオノトリたちと初めて一緒にエサを探したり、休んだりしていました。しかし、翌日からはまた単独行動に戻ってしまいました。

同じ幼鳥でも、平成18年に祥雲寺放鳥拠点から巣立ちした幼鳥2羽が、巣立ち後まもなく他のクオノトリたちに混ざってエサを探していたのとは、少しようすが違うようです。

野外でのクオノトリの行動については、まだまだ分からないことが多くあります。この幼鳥の行動から、クオノトリについて新たな発見があるかもしれません。